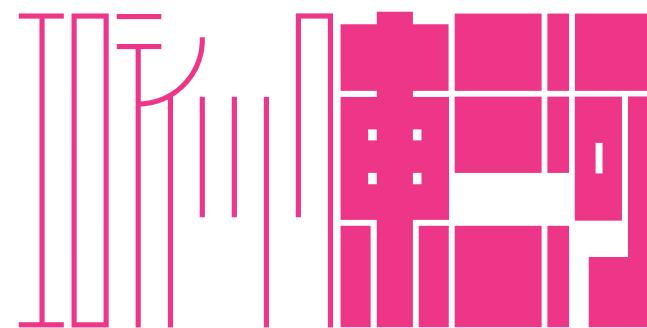


豊川用水通水50周年記念謝水祭





愛知県北設楽郡設楽町の「豊川源流」

# エロティック東三河を開催する理由

## はじめに

「日本一の農業王国を支える豊川用水が通水 50 周年の節目を迎えるので、これを大きなチャンスと捉え東三河の魅力を全国へ伝えたい。」

愛知県田原市で養豚業を営む株式会社 G・ファーム代表 鈴木美仁の一言がきっかけで、それに賛同する協力者が有志で集まり、今回のイベントは発足しました。

東三河地域、特に豊橋市、田原市において、多くの農林水産業者が豊川用水から受ける恩恵は計り知れず、豊川用水が完成する以前の同地域の農業生産品目数、生産額と現在のそれらとを比較するとその差からも歴然です。こうした事実にも関わらず、「蛇口をひねると簡単に出てくる水」への地元の人々（農業者も含め）の関心はそう高くなく、「ホラ吹き」扱いまでされた豊川用水の生みの親、田原市出身の近藤寿市郎先生の名前すら聞いたことがない、という方が大半を占めているというのが現状です。

鈴木自身も当初は豊川用水にあまり関心を持たず、非農家の知人から聞いて初めてその存在価値に気づいたほどでした。養豚業者も日々たくさんの水を使い、豊川用水から多くの恩恵を受けています。にも関わらず、同じ業を生きる者でありながら鈴木自身がそれに無関心であったことを大いに恥じ、その思いを胸に冒頭の言葉へと繋がった次第です。

# エロティック東三河を開催する理由

私共プロジェクトチームはそうした鈴木の思いに共感し、「東三河の魅力＝エロティック」と表してその発信の仕方を地域の皆さんと一緒に考え、協力し合いながら取り組んでいきたいと考えています。

本イベントのアドバイザーであり、地元・豊橋市を拠点に活動されている美術家 味岡伸太郎先生より、今回のイベントの本質に迫るご助言をいただきましたのでご紹介させていただきます。

「エロティック」は言い換えれば「美」。

そして「美」こそが「私たちの財産」。

「美」とは何か、「美」とは色や形だけではない。

広辞苑では、まず、美しいこと。美しさ。

ついで、よいこと。りっぱなこと。

そして、哲学用語としての「美」を挙げ、

知覚・感覚・情感を刺激して内的快感をひきおこすもの。

「美」それは、つまりは「人を突き動かすもの」。

# エロティック東三河を開催する理由

たとえば、人が祭りに駆り立てられるのは、そこに美があるから。

踊りたくなるのもその場が美しく、衣装が美しいから。

音楽も振付も美しいから舞いたくなる。そこに集う村人の目も優しく温かい。

そこには、古き良き時代の美しい心が残っている。

美味しいもの、美しく盛られたもの。美しく包まれたもの。

そこに人は「好感」を持つ。

「好感」を持つ、持たれる、そのすべてに「美」を見出すことができる。

そして、人の生き様もまた「美」である。

東三河の心ある人々が紡ぎ出す「美」を全国の人々に届けたい。

お届けする、物、事、そのすべてを「美」を基準にして選び抜き

東三河を謳いあげたいと思います。

# エコティック東三河を開催する理由

## その1. 農業王国の繁栄と豊川、豊川用水、松原用水、牟呂用水

愛知県東端部にある東三河地域は、豊橋市、豊川市、田原市、新城市、蒲郡市、設楽町、東栄町、豊根村の8市町村からなる日本一の農業王国です。農業生産額約820億円(平成27年)の田原市は市町村別で全国1位、また隣接する豊橋市も平成16年までの37年間、市町村別で全国1位を堅持してきました。また、単に生産額が多いだけでなく、多品種農業地域としても知られ、豊橋だけで約80品目の経営作物が出荷されています。多様化農業地域でありながら日本一の生産量を誇る背景にはいくつかの要因が考えられますが、こうした農業王国の礎に最も寄与しているのは紛れもなく豊川用水(とよがわようすい)、松原用水(まつばらようすい)、牟呂用水(むろようすい)の存在です。

今年ちょうど通水50周年を迎える豊川用水は、設楽町・段戸山(標高1,152m)に源を発する一級河川「豊川(とよがわ)」を主な取水源とし、東三河地域と静岡県湖西市に至る全長約100kmにも及ぶ巨大な人工河川です。総距離の約半分が地中を流れていることからも相当な難工事であったことは想像に難くありません。現在、約71%が農業用水、23%が水道水、6%が工業用水として利活用されています。ちなみに、取水源の豊川は「日本一の清流」(平成15年全国一級河川の水質調査で全国1位)として知られ、豊かな自然環境の源泉となっています。

豊川用水ができる以前の東三河地域は古来より幾度となく干害に見舞われてきた歴史を持ちます。田原市出

# エコティック東三河を開催する理由

身の近藤寿市郎氏（県議、衆議院議員、豊橋市長歴任）がインドネシア視察の際に農業水利事業のヒントを持ち帰り、周囲から「大ホラ吹き」と呼ばれ冷たい視線にさらされながらも様々な難局を乗り越えて豊川用水事業に着手しました。その間に第二次世界大戦が起り、幾度となく工事は中断、挫折を経験しています。その後、氏は豊川用水の完成を見ることなく亡くなられましたが、氏の意思を受け継いだ豊橋市長（当時）らの尽力により、1968年（昭和43年）ついに全通を達成します。今日に至るまで、東三河地域および静岡県湖西市に「いのちの水」が供給され続けています。もし豊川用水がなければ、農業王国・東三河は存在していなかつたといっても過言ではありません。豊川用水の工事で多くの方々が事故などで亡くなられており、尊い命の犠牲の上に今日の農業の繁栄があることを決して忘れてはなりません。

## その2. 生産人口減少の一途を辿る東三河

しかしながら、全国的に加速度的に進んでいる、いわゆる「少子高齢化」現象はこの地も例外ではありません。農業王国の基盤を築く礎ともいえる農業経営者自体の高齢化が進み、この先の見通しは明るいとは言い難い状況です。農業だけでなく、林業、水産業も含め一次産業全体の衰退が著しく、そこへ少子高齢化が追い打ちをかけているというのが実情です。平成27年の人口等基本集計結果（愛知県）によると、県全体で748万

## エコティック東三河を開催する理由

3,128人と、平成22年の同調査時よりも1.0%増加しています。ところが、地域別にみると、尾張地域（名古屋市など）513万745人、西三河地域（豊田市、岡崎市など）159万4,930人とともに増加しているのに対し、東三河地域は75万7,453人で8,234人(1.0%)低下しています。これは名古屋市、つまり大都市圏に近い地域に人口が集中し、逆に、大都市圏から離れた地域は今後も人口が加速度的に減少していくことを示唆しているといえます。こうした人口減少に加え、さらに少子高齢化が追い打ちをかけることで生産人口が減り続け、いびつな「人口ピラミッド」の体を成していくと考えます。

東三河地域の中でも、特に山間部の多い北部エリア（地元では「奥三河」と呼称するため、以下、奥三河と記述）の北設楽郡2町1村（設楽町、東栄町、豊根村）の人口減少は激しく、豊根村に至っては平成12年の人口が1,629人、15年後の平成27年には1,135人まで減少しています。もしこのペースで人口推移が続くと、約30年後には豊根村が消滅することになってしまいます。奥三河ではすでに限界集落を多く抱え、ゴーストタウン化した地区も増えつつあります。若者たちの永住促進や観光地化を進めるなど、各町村で対策は取っているもののその効果はすぐには見出せず、そうこうしているうちに「Xデー」は確実に迫っている、というのが実情です。

東三河地域全体の生産人口の減少は、今後の農林水産業の発展において非常に深刻な問題であることはいうまでもありません。もっとも、生産人口の減少は農業だけでなく他の様々な分野における発展性を阻害する深刻な問題であり、憂慮すべき事態であることに疑いの余地はありません。決して一次産業だけが抱える問題で

# エコティック東三河を開催する理由

はないのです。しかし、工業、商業も含めた生産活動の基礎をなす土台、言い換えれば、東三河地域を魅力あるエリアにするためのソリューションを提供するのが「日本一の生産額を誇る農業」であることは紛れもない事実であり、本イベントにおいて「日本の食を守るため」という大きなスローガンを掲げることは何ら大げさなことではないと考えます。

## その3. 奥三河があってこそ東三河

豊橋市、田原市、豊川市などの平野部と比較すると、奥三河エリアは買い物、病院など生活インフラの選択肢の少なさ、冬期の積雪による活動範囲の制限、さらには就職先門戸の狭さなど、郷里を離れる人々を留め置くにはあまりに条件が厳しいといえます。しかしながら、この数年、生まれ育った故郷を一度離れた若者たちが再びUターンし戻って来るケースが増え始めているのも事実です。愛郷心、自然への畏怖、敬いから生まれる「自然愛」を尊び、あえて厳しい山間地を生活の場として選び、挑戦しようとする人々も、徐々にではあるが増えてきています。

東三河地域を潤す豊かな水は、この奥三河に暮らす人々によって周辺の自然環境が維持され、ようやくもたらされる貴重な資源であるということを下流域（恩恵を受けている地域）の人々は決して忘れてはなりません。今日の農業王国・東三河地域の繁栄は、こうした奥三河の人々の支えなくしては存し得ないです。そのため、奥

# エロティック東三河を開催する理由

三河の人口減少が奥三河だけの問題ではなく、東三河地域全体の問題として今後さらに具体的な議論がなされ、地域住民も含めて皆で知恵を出し合い対策を練る必要があります。言うまでもなく、奥三河があってこそ東三河なのです。

## その4. ほんのちょっとだけ足りなくて惜しいもの

東三河地域は全国的に見ても比較的裕福な地域と言われています。一年を通して比較的温暖で変動の少ない気候、自然環境（山、川、海）が残る住環境のバランスの良さ、豊橋市、田原市など平野部の多い地形、誠実で初志貫徹の気概をもつ責任感の高い職人気質の人々の多さ、そして、東は東京、西は大阪、そのちょうど中間に位置するため輸送面での優位性の高さなど、様々な好条件の蓄積がこうした裕福さにつながっていると考えられます。三河湾に存する「三河港」は大型船舶の停泊も可能で、世界の自動車メーカーを中心とした国際貿易港としても知られています。お隣の知多半島には海上に浮かぶ中部国際空港（セントレア）があり、陸海空いずれの輸送手段をも選択可能な点で、間違いなく国内有数の立地優位性を持つ地域といえましょう。

つまり、東三河地域は、住み心地の良さを基盤に、経済面、人材面、ソーシャル面（人とのつながりなど）において非常に充実した魅力あふれる地域であることに間違いはありません。そうであるにも関わらず、先述のように人口が減り続けているのはなぜでしょうか？確かに、大都市・名古屋との距離は、尾張地域、西三河

# エロティック東三河を開催する理由

地域と比べるとハンデがあります。しかし、ITを活用した新しいビジネスモデルが次々に登場したことで多様な業態が生まれ、以前ほど地理的なハンデは影響しなくなっています。

地元の人々はよくこう口にされます。「東三河っていろいろといいところがあり過ぎて、逆にマイチ魅力が伝わらないんだよね」と。「もうひとつ、何かが足りないんだよね・・・」とも。心の底では魅力あふれる地域だと十分にわかっていても、それを自分で解釈しやすい表現に置き換えることできなければ、その魅力を誰かに伝えることはできません。

## その5. エロティック東三河

フランスの社会学者ピエール・ブルデューは「人間が持つ3つの資本」を次の通りと定義しています。

- ・エコノミック・キャピタル（経済的資本）
- ・ヒューマン・キャピタル（人的資本＝知識や技能など）
- ・ソーシャル・キャピタル（社会関係資本＝協調行動が活発化することにより社会の効率性を高める）

そして、これらに加え、さらに、イギリスの社会学者キャサリン・ハキムが唱えた第4の資本が、

- ・エロティック・キャピタル（身体的・対人的資本＝セクシーさなど）です。

# エロティック東三河を開催する理由

これら4つの資本を磨き上げることでより魅力的な「ヒト」へと成長できる、という考え方です。そこで、私たちは「ヒト」を「地域」に置き換えてみました。つまるところ、「ヒト」の魅力も「地域」の魅力も同じことではないか、と考えたのです。実際、「地域」も「ヒト」も、その魅力を図るものさしとして先述の4つの資本が非常に重要であるといえます。

今回、私たちはこれら4つの資本の中で、特に「エロティック・キャピタル」に注目しました。「エロティック」という言葉の解釈は様々ありますが、単純に「かっこいい」、「かわいい」「清潔さ」「セクシー」といった「見た目」の魅力を「エロティック」と捉えています。もちろん、「エロティック」という言葉には「性的な魅力」という意味も含みます。しかし、これをあえてタブー視せず、さらに奥へと切り込み、人々の心の内にある「本能」に迫ることができれば、この東三河の真の魅力に迫ることができるのではないか、と考えたのです。

農業をはじめ、「本物」の職人気質が浸透している東三河地域は「日本一セクシーでエロティックな地域」というのが私たちの立てた仮説です。「こんなこと出来て当たり前、わざわざ人に見せたりするものではない」という職人の言葉の奥に「確固たる信念と確かな技術」が見えてきます。それこそが「エロティシズム」といえるのではないでしょうか。

本イベントのテーマを「エロティック東三河」とした由縁は以上です。

# エコティック東三河を開催する理由

## その 6. 東京での開催について

日本中の地域が将来の人口減少、少子高齢化で悩む中、東京都市圏人口は相変わらず世界で断トツの第1位です。平成27年統計で約3,814万人。2位のデリー(インド)が約2,645万人、3位の上海(中国)が約2,448万人であることから、東京都市圏の人口がいかに飛び抜けているのかがわかります。人口比率で考えても、インド人、中国人ともに約13億人、日本人約1億2千万人、つまり、インドや中国の約12分の1しか人口を持たない日本において、一つの都市圏に4千万人近い人々(総人口の約3割)が住んでいるのです。

これは日本全国における各地域の人口バランスを考えると極めて憂慮すべき事態であり、今後も続く東京都市圏への人口の一極集中化は、紛れもなくその他の地域の人口減少に拍車をかけていくと思われます。

私たちは、豊川用水通水50周年という半世紀に1度の大きな節目を機に、東三河地域の農林水産業者が中心となり、郷土をこよなく愛する方々と共に、「チームオール東三河」の旗印を立て、東京で特別な催事を開催することにしました。

主な対象は、東三河出身の現在東京近郊に在住の方で、老若男女は問いません。東三河地域の魅力や懐かしさなどを直接伝えるために、長い歴史を持つ伝統的なお祭りや、各地で活躍中の郷土出身者による様々なパフォーマンス、さらには地元農畜産物をはじめとする食の祭典、地元でしか体験することのできない「五感」体験などを多くの方々のご協力のもとで実施させていただきたいと考えます。

# エロティック東三河を開催する理由

私たちがやるべきことは、これまで東三河地域を影で日向でずっと支え、盛り立ててくださってきた地元の方々にスポットを当てるお手伝いをさせていただくことです。東三河地域の魅力のすべてを数日間のイベントだけで表現することはとてもできませんが、しかし、こうした魅力を持った方々やその活動などをご紹介させていただく「ステージ」をご用意させていただくことで、さらに新たな「地域の宝物」を見出し、東三河地域の魅力が再認識されるきっかけになればと願っています。

少々大胆な話ではありますが、近い将来、多くの人々が移住、Uターン、就職、起業などをするための有力な選択肢の一つとしてこの東三河地域を真っ先に候補にあげていただけるように、本イベントにおける活動がそのさきがけとなれるよう努力していきたいと思っています。

## その7. イベント終了後について

本イベントは後述の通り 2018 年 11 月 25 日をもって終了します。しかし、本イベントの目的はイベントを開催することではなく、こうした一連の活動を通し「東三河の魅力」を全国にアピールし、そして、後世にきちんと伝えていくためのきっかけを作ることです。

## エロティック東三河を開催する理由

そのためには、私たち地元住民自身が東三河の歴史についてあらためて学んだり、様々な伝統や技術を守り続けてきた人々のことを「知る」ことが重要です。当然ながら長期に渡る取り組みとなりますので、愛知県、東三河広域連合、東三河 8 市町村と連携しながら進めていくことが不可欠になると考えます。

また、重要な取り組みの一つとして、本イベント開催の 2018 年 11 月までに、水資源機構、土地改良区、JA、地元大学、地元住民の方々などにご協力をお願いしながら、豊川用水の見学会、豊川用水の発案者である近藤寿市郎先生の功績をたどる勉強会などの開催を継続的に行いたいと考えています。こうした地元での認知度を高めるための企画を隨時実施していく予定です。

本活動は、東京でのイベントが終了してから本当の意味でその真意を問われると考えています。そのため、今後も継続的に、そして、多くの方々と共に協力しながら活動を行うことができる受け皿として、一般社団法人 寿プロジェクトを 2018 年 1 月 19 日に設立しました。近藤寿市郎先生のお名前から「寿」の文字をお借りし、法人名として使わせていただいている。それは、当時、先生が「世紀の大ボラ」とまで言われ周囲から冷たい視線にさらされ続けたにも関わらず、初志貫徹で豊川用水完成などの偉業を成し遂げられたことに深く敬意を表すと同時に、常に私たち自身が活動の原点に回帰するため、という意味も込めています。まずは 2020 年、「近藤寿市郎先生生誕 150 年」に向けての取り組みを「寿プロジェクト」としての最初の重要なプロジェクトにできればと考えています。

宮沢賢治著「春と修羅 第三集」より

七一　　水汲み

ぎっしり生えたち萱の芽だ  
紅くひかって  
仲間同志に影をおとし  
上をあるけば距離のしれない敷物のやうに  
うるうるひろがるち萱の芽だ  
……水を汲んで砂へかけて……  
つめたい風の海蛇が  
もう幾脈も幾脈も  
野ばらの藪をすり抜けて  
川をななめに溯って行く  
……水を汲んで砂へかけて……  
向ふ岸には  
蒼い衣のヨハネが下りて  
すぎなの胞子(たね)をあつめてゐる  
……水を汲んで砂へかけて……  
岸までくれば  
またあたらしいサーペント  
……水を汲んで水を汲んで……  
遠くの雲が幾ローフかの  
麵麺にかはって売られるころだ



愛知県豊橋市雲谷町の「二川放水路」から望む立岩  
photo by Hiroki Kawai

# エコティック東三河協議会について

## 1. 役員および運営事務局

会長 鈴木 美仁（株式会社 G・ファーム 代表取締役）

副会長 柴田 博隆（有限会社 鳥市精肉店 本部長）

顧問 河合 浩樹（河合果樹園 代表）

特別顧問 河合 信幸（東海興業株式会社 代表取締役）

総合プロデューサー 清水 貴裕（株式会社 都デザイン 代表取締役）

アートディレクター 竹内 景子（mocon design 主宰）

シニアディレクター 鈴木 教広（鈴木農園 代表）

シニアディレクター 伊藤 令麒（かあやん商店 主宰）

シニアディレクター 佐々木 啓允（佐々木繊維株式会社）

シニアディレクター 田中康夫（株式会社イトコー 企画チームリーダー）

ストラテジーディレクター 黒田 憲治（株式会社 SKY ADVANCE 代表取締役）

ストラテジーディレクター 種田 憲人（株式会社 TASUKI 代表取締役）

# エコティック東三河協議会について

## 2. 実行チームリーダー

東三河マルシェ・東京マップ

リーダー 柴田 博隆（有限会社 烏市精肉店 本部長）

街コン

リーダー 鈴木 教広（鈴木農園 代表）

記録・ドローン空撮

リーダー 伊藤 令麒（かあやん商店 主宰）

各種装飾、フライヤー

リーダー 竹内 景子（mocon design 主宰）

ボランティアスタッフ

リーダー 佐々木 啓允（佐々木纖維株式会社）

広報・SNS

リーダー 鈴木 領馬（株式会社 G・ファーム）

Youtube 番組制作・会場中継

リーダー 渡邊 隆之

---

東三河お祭りステージ

総合演出 菅原 浩志（映画監督）

---

東三河マルシェ

補佐 田中 康夫（株式会社 イトコー 企画チームリーダー）

東三河お祭りステージ

補佐 後藤 敏朗（豊橋市北部地区市民館 館長）

街コン

補佐 荒木 通仁（一般社団法人 みんなのたはら元気ネット 代表理事）

夢を叶えるプロジェクト

責任者 中野 公平（株式会社つむぎコーポレーション）

# エコティック東三河協議会について

## 3. 特別協賛（敬称略）

株式会社 渥美モータース、日東電工株式会社 豊橋事業所、農事組合法人 源氏肥育組合  
株式会社 瓜生畜産、有限会社鳥市精肉店、株式会社 アスコ、株式会社 中神種苗店

## 4. 後援（敬称略）

愛知県、東京都、東三河広域連合、豊橋市、田原市、豊川市、蒲郡市、新城市、設楽町  
東栄町、豊根村

独立行政法人 水資源機構、豊川総合用水土地改良区、牟呂用水土地改良区、松原用水土地改良区  
豊橋農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、一般社団法人 みんなのたはら元気ネット  
豊川流域圏づくり協議会、三遠南信住民ネットワーク協議会、東三河交流ねっと  
三遠ネオフェニックス、豊橋百儂人、三河トコ豚極め隊  
中日新聞社、東愛知新聞社、東海日日新聞社

# エロティック東三河協議会について

## 5. エロティック東三河応援アンバサダー（敬称略）

菅原 浩志（映画監督、豊橋市ふるさと大使）

光浦 靖子（タレント、田原市ふるさと大使）

大久保 佳代子（タレント、田原市ふるさと大使）

内藤 哲郎（和太鼓演奏家、新城市出身）

桃月 なしこ（女優、豊橋市出身）

（団体）

和太鼓 志多ら（和太鼓集団、東栄町に拠点）

穂の国娘。ぐるめいど隊（ご当地アイドル）

ええじゃないか豊橋伝播隊 DOEE（ご当地アイドル）



六本木けやき坂通り

# イベント内容について

## 1. イベントタイトル、日程、主催など

テーマ：豊川用水通水 50 周年記念謝水祭 エロティック東三河

サブテーマ：人々が紡ぎ出す美を届けたい

日程：平成 30 年 11 月 17 日(土)～24 日(土)

※メインイベント：11/18(日) 軽トラマルシェ、11/24(土) お祭りステージ & 物産展

会場：六本木ヒルズアリーナ、高野山東京別院、マハラジャ六本木

対象：東京近郊在住の東三河出身者、東三河に関心のある方、東京の観光客

主催：エロティック東三河協議会、一般社団法人 寿プロジェクト

運営協力：株式会社 G・ファーム、段戸山三河炭やき塾、河合果樹園、鈴木農園

かあやん商店、有限会社 鳥市精肉店、ほの国プロジェクト、mocon design

佐々木纖維株式会社、株式会社 イトコー、株式会社 SKY ADVANCE

株式会社 タスキ、株式会社 都デザイン

# イベント内容について

## 2. スケジュール

### ■メインイベント

平成 30 年 11 月 18 日(日)・・・・・・・ 東三河おいでんマルシェ軽トラ市(高野山東京別院)

平成 30 年 11 月 24 日(土)・・・・・・・ 東三河お祭りステージ、農業王国・東三河マルシェ、東三河 PR  
(以上、六本木ヒルズアリーナ)、街コン(マハラジャ六本木)

### ■スピノオフイベント

11 月のメインイベント開催までに、約半年かけて東三河地域や豊川用水のことをさらによく知るための勉強会、見学会、体験会などを開催する。

(例 1) 近藤寿市郎翁勉強会：近藤翁の生家のあった田原市高松町で開催予定。地元の方々や住職の講話を聞きし、近藤翁の「足跡」を体験。

(例 2) 豊川用水・二川サイホン見学会

(例 3) 奥三河体感会(段戸山裏谷原生林探索、炭やき・炭撒き体験、セリサイト鉱山探検など)など。

# 各企画案について

## 1. 六本木ヒルズアリーナイベント

### (1) エロティック東三河お祭りステージ

日時：平成 30 年 11 月 24 日（土）11 時～20 時

会場：東京・六本木ヒルズアリーナ

#### ポイント

- ・花祭り、田峯観音奉納歌舞伎など東三河地域の伝統的なお祭りのダイジェストを行う。
- ・ステージに、田峯観音奉納歌舞伎で使用される竹を使った「小屋掛け構法」を再現する。

#### <内容>

メインコンテンツとして、東三河各地に伝承されてきた奇祭と呼ばれるお祭りの一場面（ダイジェスト）を実際に地元の方々にご協力をお願いし披露していただくステージを計画。「お祭り」の合間に、東三河地域で活躍する様々な分野の「スペシャリスト」の方々に登場いただき、トークショーや実演ライブなどを行う。また、東三河出身で全国で活躍する著名人にもご協力をお願いし、MC、歌、バンド演奏、トークショーなどを展開する。

会場内のスクリーンには、ステージ上の様子が映し出されるほか、他会場の様子なども随時中継を入れることで、イベント参加者との一体感を創り出す。また、ステージの様子はインターネットを利用したストリーミング配信により、会場に来れない方もリアルタイムに「一体感」を味えるよう工夫する。

# 各企画案について

## (2) 農業王国・東三河マルシェ

日時：平成 30 年 11 月 24 日（土）10 時～20 時

会場：東京・六本木ヒルズアリーナ

### ポイント

- ・農業王国 東三河産（地産）食材を使ったマルシェの開催。
- ・東京レストランマップの作成

### <内容>

日本一の農業王国にふさわしい盛大かつ高品位の「食」のマルシェを開催する。農業王国・東三河の食材を取り扱う「達人」の中から選び抜かれた 20 のブースが六本木ヒルズアリーナ（）に出現。「地産都消」をテーマに掲げ、本物の農業技術、本物の食材、本物の料理、本物のおもてなしで来場者の心をつかみます。各ブースは「東三河らしさ」をモチーフに統一感のある装飾を施し、東三河出身の来場者が「懐かしさ」を感じるような会場作りを行う。オリンピックを前に世界から注目される東京での開催ということを意識し、海外旅行客へも積極的にアピールすることで、「次は東三河を訪れたい」と感じてもらえるような魅せ方、伝え方を工夫する。

# 各企画案について

## 2. 東三河おいでんマルシェ軽トラ市

日時：平成 30 年 11 月 18 日（日）10 時～15 時

会場：高野山真言宗 総本山金剛峯寺 高野山東京別院

### ポイント

- ・農林水産業者が軽トラ、キッチンカーで東三河産（地産）の農畜産物などを販売。
- ・豊橋 普門寺と関連のある高野山東京別院を特別会場に開催。
- ・普門寺の秘仏「大黒天」の出開帳を行う。

### <内容>

豊橋市内にある古刹・普門寺と関連のある高野山東京別院（高野山真言宗 総本山金剛峯寺の別院）屋外スペースをお借りして 1 日限りの特別な軽トラ市を開催します。出店数は 30 店の予定。東三河地域の新鮮な農畜産物とその加工品を中心に PR や即売会を行い、東三河出身者（東京在住者）はもちろん、会場周辺にお住まいの方々にも来場を呼びかけ、日本一の生産額を誇る農業をの魅力をアピールします。また、普門寺に代々伝わる秘仏「大黒天」を会場へ運び、その日限りの特別な「出開帳」を行います。

# 各企画案について

## 3. エロティック東三河・街コン

日時：平成 30 年 11 月 24 日（土） ※時間調整中

会場：東京・マハラジャ六本木

### ポイント

- ・東三河の農林水産業者男性 50 名と東京近郊在住女性 50 名による街コンを開催。
- ・会場は伝説のクラブ・ディスコ「マハラジャ六本木」を使用。

### <内容>

一般社団法人 みんなの田原元気ネット主管による「街コン」を伝説のクラブ・ディスコ「マハラジャ六本木」で開催します。東三河在住の農林水産業者（独身男性）50 名と東京近郊在住の独身女性 50 名による街コン企画です。実直で勤勉といわれる東三河地域の男性は、一見すると、とっつきにくく人付き合いもそううまくないと思われています。決してそうした堅い人間ばかりではないのですが、地元の未婚男性の話に耳を傾けると「いい出会いさえあれば・・・」という愚痴がよく聞こえてきます。「じゃあ、いい出会いを提供しようじゃないか」 そんな思いで、東三河在住の未婚男性のための街コンを企画しました。東京の婚活コンサルタントによると、「東京では男性よりも女性の方が新しい出会いを求めて積極的に活動している」とのこと。堅物で出会いに恵まれない東三河男子と常に新しい刺激を求めている東京女子。そんな両者に交流の場を提供し、そこから何か新しい何かが生まれることを期待し開催します。

## 各企画案について

### 4. 東三河 PR コンテンツ

日時：平成 30 年 11 月 24 日（土）10 時～20 時

会場：東京・六本木ヒルズアリーナ

#### <内容>

六本木ヒルズアリーナ内にブースを設置し、東三河 PR 展（8 市町村、農林水産業、一般企業）を開催します。展示内容は東三河広域連合、東三河各市町村、そして、参画を希望される企業と協力、相談しながら準備を進めていく予定です。現在、愛知県などが積極的に推進している UIJ ターンを促すための各種取り組みとも連動できればと考えます。

# 各企画案について

## 5. その他の企画案

前述の企画以外にも、現在次のような企画、コンテンツの作成を検討中です。

- ・東三河アピール隊（仮称）による東京・山手線でのイベント告知活動
- ・「夢を叶えるプロジェクト～東京のあの人に会いたい～」企画
- ・豊川用水空撮映像 DVD
- ・記念誌発行（イベント終了後）

# 協賛について

協賛に関する規定の概要は次の通りです（詳細は別紙に定めます）。

## (1) 一般協賛

個人の方・・・・・・一口 3,000 円より

個人事業主・・・・・・一口 10,000 円より

法人、各種団体・・・一口 30,000 円より

※公式手ぬぐいの返礼、公式パンフレット（タブロイド版）、公式ウェブページなどに掲載します。

## (2) 特別協賛

日頃より、一次産業発展への理解のある方で、地域への還元を積極的に促進されていることが条件となります。本イベントのイメージアップにつながるかどうかを十分に考慮し、一定の審査を経てから決定させていただきます。

※公式パンフレット、公式ウェブページなど各種媒体への掲載に加え、公式スタッフジャンパーの所定の箇所にロゴマークを印刷します（額面に応じてサイズ、箇所は変わります）。

# 協議会会議について

エロティック東三河協議会では、次の通り3種類の会議を執り行います。

## (1) エロティック東三河協議会会議

通称「全体会議」。月1回開催を目安に、同協議会に参画する全ての役員及び会員、事務局が参加し、現況の報告会などを行います。

## (2) 同協議会 運営事務局会議

通称「事務局会議」。月1回程度の開催を目安に、運営事務局メンバーが参加し、各実行チームの進捗状況、懸案事項の確認など、実際のプロジェクト運営全体における実務レベルでの問題解決等を行います。

## (3) 各企画会議

各企画ごとに実務レベルでの運営を円滑に行うための会議で、本イベントを具現化するための中核を担う場となります。各企画リーダーの招集に応じて参画者が集まり様々な話し合いなどを行います。

## 最後に

「本イベントをどうして開催するのか？」

「どうして東京なのか？」

「どうして、多くの方が顔を赤らめてしまうようなタイトル『エロティック東三河』にしたのか？」

このイベントを企画し、開催させていただくことを公開してから今日に至るまで、素朴な疑問としてこのような質問をいただく機会が非常に多くあります。実は私たちイベント企画運営者の中でも、常にこのことで自問自答を繰り返し、スタート地点に戻ってはまた一步先に進む、を繰り返しています。限られた短い時間しかない中で、何度も後ろを振り向くことは一見無駄なことをしているかのように見えます。しかし、そうではありません。このイベントの成功の鍵は、東三河地域が本来持っている「本物の魅力=宝物」を地元の方々のご協力を通して「引き出す」ことができるかどうか、です。私たちにできることは、そうした代々に渡って「宝物」を守り、繋いでこられた地元の方々をそっと後押しさせていただくためのお手伝いをすることだけです。そのために、常に「原点」へと立ち返り、初めてお会いする方に「どうして？」と聞かれた時もきちんと答えられるようにしておきたいのです。

近藤寿市郎さんが東三河地域の未来のために遺してくださいました「宝物=豊川用水」の魅力を多くの方々と共有するため始めたのが本企画の原点です。準備の過程を通して、東三河地域のさらなる「宝物」が各地から掘り起こされてくることに期待し、ワクワクしながら、皆さんと一緒に楽しく取り組めたらこの上ない幸せです。

総合プロデューサー 清水貴裕

## お問い合わせ・連絡先

### お問い合わせ・連絡先

エロティック東三河協議会事務局

~~〒441-1112 愛知県豊橋市石巻町札辻 7-3 (都デザイン内)~~ (当時)

~~TEL 0532-39-6254 / FAX 0532-39-6255~~

mail:info@meyster.jp

一般社団法人 寿プロジェクト

〒441-3421 愛知県田原市田原町二ノ丸 4-1(G・ファーム内)

TEL 0531-22-1129 / FAX 0531-22-4186